

# まちづくり交付金 事後評価シート

## 宝積寺駅周辺地区

平成21年3月

栃木県高根沢町

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	栃木県		市町村名	高根沢町		地区名	宝積寺駅周辺地区			面積	160.7ha		
交付期間	平成16年度～平成20年度		事後評価実施時期	平成20年度		交付対象事業費	2,329百万円	国費率	0.340				
1)事業の実施状況	事業名												
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	町道新設(1路線)、町道延伸(1路線)、町道改良(7路線)、地域生活基盤施設(ちよつ蔵広場他1事業)、高質空間形成施設(町道348号線歩道舗装他2箇所)、高次都市施設(宝積寺駅東西連絡通路)、既存建造物活用事業(地域交流センター、観光交流センター)										
		提案事業	宝積寺駅舎整備事業、まちづくり活動支援事業										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	なし										
		提案事業	なし										
	新たに追加した事業	基幹事業	町道201号線、町道202号線、町道204号線、町道243号線及び町道354号線改良事業、ベンチ設置及び視線誘導標設置				最終変更で追加			影響なし			
提案事業		なし											
交付期間の変更	当初	平成16年度～平成19年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			影響なし						
	変更	平成16年度～平成20年度											
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
				基準年度		目標年度	モニタリング	評価値					
	指標1	空き地の商業系利用率	ha	0	H14	1.05	H20		1.10	○	ありなし	駅東口が開設されたことで利便性が格段に向上したことが、目標を達成につながった。	平成21年4月頃
	指標2	JR宝積寺駅利用者数	人/年	750,000	H14	900,000	H20		776,265	△	ありなし	駅東口開設が平成19年10月末、自動車依存の生活スタイルからの未脱却、高校生の減少もあり、目標達成とはいかなかった。	平成21年4月頃
	指標3	イベント回数	回	9	H14	12	H20		12	○	ありなし	ライブ公演が好評で定期的開催できるようになったことが、目標を達成につながった。	平成21年4月頃
	指標4										ありなし		
指標5										ありなし			
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
				基準年度		目標年度	モニタリング	評価値					
	その他の数値指標1	駅勢圏(市街化区域内)の人口増加数	人	14,160	H14			15,156			駅勢圏(市街化区域内)の人口が増加したことで、宝積寺駅利用者が回復傾向にある。	平成21年4月頃	
	その他の数値指標2	ちよつ蔵ホールの売上高	円	1,956,600	H14			2,268,600			アマチュアバンドの利用増により、ライブ活動による利用料収入が大幅に増加した。	平成21年4月頃	
その他の数値指標3													
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>ちよつ蔵ホールは県内各地から利用されている。とりわけ、高校生のホール利用者は、ボランティアで広場の清掃を行っている。</li> <li>隈研吾氏設計の建築物を目的とした観光客が増加している。海外からの観光客もよく見かける。</li> </ul>												
5)実施過程の評価	実施内容												
	モニタリング	建築家隈研吾氏によるちよつ蔵広場、宝積寺駅東西連絡通路及び宝積寺駅舎の設計監修				実施状況				今後の対応方針等			
						都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 隈研吾氏とは今後も連絡を取り、適宜助言をいただくことにする。			
	住民参加プロセス	まちづくり委員会による調査研究・勉強会・視察研修会の開催				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● TMO高根沢を中心に、必要に応じて調査研究・勉強会・視察研修会を継続的に行い、町も適宜参画する。			
				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● TMO高根沢をちよつ蔵広場と東西連絡通路の指定管理者に選定し、きめの細かいサービスの提供を実施してもらう。					
持続的なまちづくり体制の構築	TMO高根沢の組織												

## 様式2-2 地区の概要

### 宝積寺駅周辺地区(栃木県塩谷郡高根沢町) まちづくり交付金の成果概要

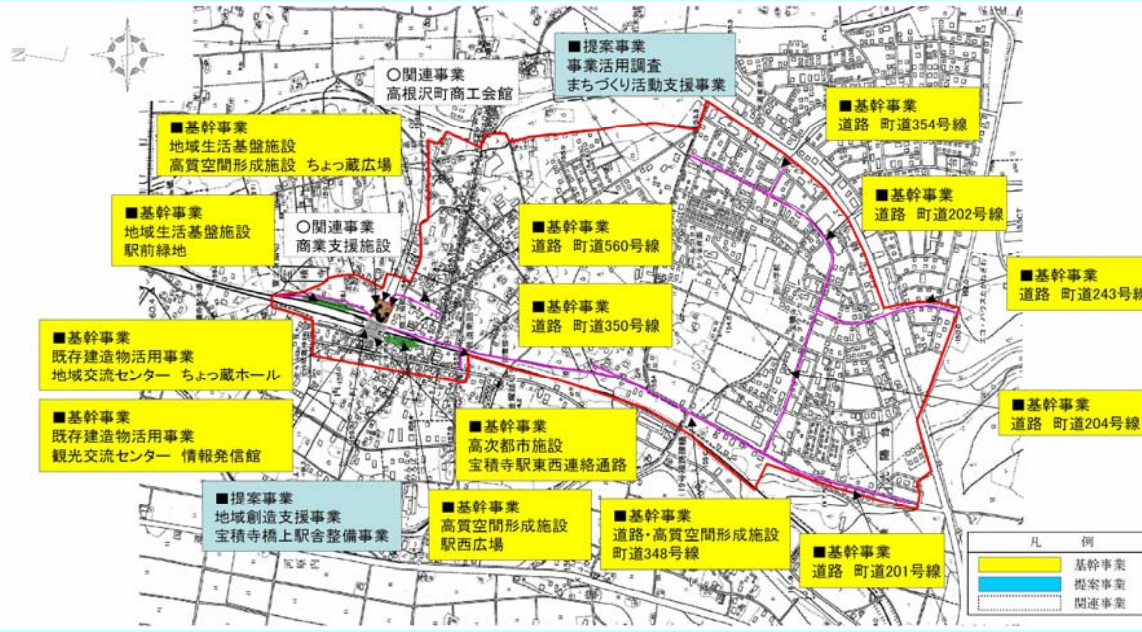
まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
大目標: 中心市街地活性化と再生シンボル・先導役として、既存米蔵を活用した「ふれあいと賑わいの交流拠点」の形成 目標1 商業活力を創出する環境作り(消費者等との「ふれあい」や人情味を大切に魅力ある商業核、商店街の整備を図る。) 目標2 人や情報が交流する環境づくり(人が商店街を回遊し、楽しみながら情報が交流する施設の整備と人の和の醸成を図る。) 目標3 多世代が安心して快適な暮らしのできる居住環境づくり(田園情趣を生かしたゆとりと緑のある住宅地整備と、人々が協力し安全で安心して暮らせる居住空間の創出を図る) 目標4 アクセシビリティの高い環境づくり(アクセスしやすくてトータルにバリアフリー化された利便性の高い都市基盤施設の整備改善と機能の充実を図る。)	空き地の商業系利用率	単位: ha	0 H14	1.05 H20	1.10 H20
	JR宝積寺駅利用者数	単位: 人/年	750,000 H14	900,000 H20	776,265 H20
	イベント回数	単位: 回	3 H14	12 H20	12 H20
		単位:	H	H	H
	単位:	H	H	H	



ちよっ蔵広場



宝積寺駅東西連絡通路



ちよっ蔵ホール



ちよっ蔵FESTA

まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>宝積寺駅東側は町の玄関口にふさわしい居住環境に改善された。</li> <li>建築家隈研吾氏監修による大谷石造りの倉庫は、中心市街地活性化の拠点としての本格的活用がなされている。特にアマチュアバンドのライブ活動の拠点となっていることが特徴である。</li> <li>数値目標には達しなかったが、宝積寺駅利用者数は増加し、駅勢圏(市街化区域内)の人口も増えている。</li> </ul>
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>隣接する宝積寺駅西第一土地区画整理事業を早期に竣工させ、宅地供給を図る。住宅供給にあたっては、明確な整備方針を持って行うことが必要である(例えば医療団地の誘致など)</li> <li>一部の土地が地権者の反対により買収できず未整備となっているので、今後とも交渉を重ね、整備への理解を求めていく。</li> <li>本地区の一部が含まれている宝積寺駅西第二地区においてまちづくりの気運が高まり、土地区画整理事業も含めた事業化を検討するためまちづくり研究会を実施しているので、地権者や居住者等との対話を行う。</li> <li>高質な空間を維持するため景観計画を策定し、まち全体の調和を保つようにする必要がある。</li> <li>アクセスの整備・改善により、自転車利用者が激増し通路階段下に駐輪するものが後を絶たないため、不法駐輪対策が求められる。</li> <li>既存の大谷石倉を再生したものであるため、メンテナンスを十分に行って施設の老朽化を防止する。</li> <li>高校生のボランティアによる清掃活動の輪を更に広げていくことが重要である。</li> <li>従来からの商店が活性化するような新たな方策が求められる。</li> <li>駅利用者を増やすために、高根沢町内外の施設・行事との連携を図ることも必要である。</li> <li>高根沢町をもっとPRする必要がある。</li> <li>都市再生整備計画区域周辺にあるものを最大限に活かす整備を行う必要がある。</li> <li>駅西側の活性化を促していくことが求められる。</li> </ul>